

2025年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
36107	ファッションアクセサリーズ Fashion Accessories	長谷川えり子			1	選択	1、2前期

科目の概要

ファッションのトータルコーディネートにおけるアクセサリーの果たす役割は大きく、その効果を知ることで素敵なファッションスタイルが生まれる。本授業では、アクセサリーの種類を知り、制作技術を身につけ、自分のイメージに合ったアクセサリーを制作する。ネックレス、ピアス、イヤリングなどを独自の発想や表現力をもとにデザインし、制作するための専門的技術を修得する。(DP③④) 制作にあたっては、ハンドメイドで進めていくので、真心を込めて、完成度の高い作品に仕上げるために努力する姿勢を養っていく。また、最終課題で制作したアクセサリーのコーディネート提案を行うために、これまで学修した知識を活用して、柔軟な思考力を発揮してマップ制作を行う。(DP④⑤) G F P (Gakusen Fashion Prime) を活用して制作実習を進める。

学修内容	到達目標
① アクセサリー制作に必要な工具の種類と使い方、テクニックについて実習を通して学ぶ。 ② アクセサリーの基本的な制作方法について実習を通して学ぶ。 ③ アクセサリー制作を通して、もの作りの姿勢、技術の向上を目指し、コーディネートについて創造する。 ④ 着用シーンに合わせたアクセサリーをデザインし、材料を選定して制作する。	① アクセサリーの材料、制作用具を知り、金具の扱いなどの基本的な技術を習得することができる。DP③ ② アクセサリー制作を通して、丁寧に取り組む姿勢を身につけ、作品を作り上げることができる。DP③ ③ 習得したアクセサリー制作スキルを活かして、A Iを活用して新しいデザインを考え、様々な表現方法を提案することができる。DP③④⑤ ④ これまでに修得した知識を活用して、着用シーンに最適なアクセサリーを提案し、制作方法を考え作り上げることができる。DP③④

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	ファッション情報を積極的にキャッチし、店頭や雑誌に掲載されたアクセサリー商品の動向を捉える。
	働きかけ力	
	実行力	制作にあたっては、何度も操作を繰り返して技術の上達を目指す。
考え抜く力	課題発見力	制作で上手くいかなかった点について、原因を分析し、次の取り組みに活かす。
	計画力	
	創造力	様々なアクセサリーの制作方法を知り、いろいろな材料と組み合わせて、新しい作品を提案する。
チームで働く力	発信力	成果発表会では、制作したオリジナルアクセサリー魅力と最適なコーディネート提案を伝える。
	傾聴力	制作方法では、教員の説明をしっかりと聞き、ポイントはメモをとる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：教員が作成したプリントを配布する。
参考文献：なし

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：ファッションコーディネート演習
資格との関連：なし

学修上の助言	受講生とのルール
普段からファッションアイテムに関心を持ち、ファッション雑誌、売り場などでファッションスタイルに触れるように心がけよう。その中でアクセサリーの種類や使い方を観察しよう。	演習授業であるので、欠席しないこと。 作品制作費用・・・1作品ー100円～500円 基本作品 5 点 制作＋オリジナル作品 2 点制作 (選定材料種類による)

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
				④				
	平常評価	小テスト	0	①				
				②				
				③				
				④				
		レポート	30	①	✓			共通作品（作品①～⑤）制作に際して、制作内容をまとめてレポート（制作記録）提出する。 レポートは、制作方法、課題、反省点などの記述内容により評価し、フィードバックする。 オリジナル作品について、各自レシピを作成する。制作方法、ポイントがわかりやすくまとめられているかを評価する。
				②	✓			
				③	✓			
				④				
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	60	①	✓			・第8回～14回の内容について、制作した作品のデザイン性、独自性、コーディネート提案を確認するためにプレゼンテーションを行う。（制作作品の成果（2点）作品提示、コーディネート提案提示） ・作品のデザイン性、完成度（出来映え）を評価する。 ・作品は講評会で良い点を評価し、返却する。 ・コーディネート提案課題を行うにあたり、これまで学修した知識を活用して、最適なTPOをスタイリングマップで表現する。
				②	✓			
				③	✓			
				④				
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			（主体性）ファッション情報をとらえ、アクセサリ作品に活かされているかを制作した作品より評価する。 （実行力）何度も操作を繰り返して技術の上達がみられたか、作品より評価する。 （課題発見力）制作で上手くいかなかった点について、分析ができていないかを制作記録により確認する。 （創造力）アクセサリの制作方法といろいろな材料と組み合わせて、新しい作品が提案できたかを作品により評価する。 （発信力）成果発表では、ファッションスタイルに合ったアクセサリの提案ができたかを評価する。 （傾聴力）教員の説明をしっかりと聞き、スムーズに制作を進めることができたかを制作記録で評価する。 （規律性）遅刻、無断欠席など学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる 欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。	
			②	✓				
			③	✓				
			④					
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
A：アクセサリの概要を捉え、自分の作りたいデザインを考え、制作することができる。制作を通して、バランス感覚、ファッションセンスを磨き、ファッションスタイルに合わせたコーディネート提案することができる。 S：上記に加え、作品の完成度が高く、講評会での評価が高く、制作記録がしっかりまとめられている。	B：アクセサリの種類を知り、授業で学習したアイテムを制作することができる。制作を通して、スキルを身につけ、自分のファッションスタイルにコーディネートすることができる。 C：上記の基準に対して、制作はできているが作品の仕上がりが悪い。制作活動に対して消極的な取り組みが見られる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	授業の進め方について ファッションアクセサリ の概要 授業制作する作品につ いて	講義と質疑応答 PPにより、アクセサ リーの種類を紹介す る。制作する作品の 材料を検討する。	本授業についての取り 組み方がわかる。 アクセサリーの概要を 把握し、制作に対して の心構えができる。	(予習) シラバスを読 み、内容を理解する。 (復習) プリント内容 を復習し、手持ちのア クセサリーを調べる。	60	傾聴力
2	ジュエルデコレ 基本 作品① ジュエルデコレの手法 でラインストーンを使 ったストラップを制 作する。	演習 制作方法説明後に各自 制作実習する。PCを 活用して、GFP画像 を参考に制作する。 作品提出、制作記録提 出後にフィードバック する。	ジュエルデコレの技法 を習得し、作品を完成 できる。	(予習) ラインストー ンを使ったアクセサ リーを調べる。 (復習) 作品のコー ディネート例を考え 制作記録をまとめる。	60	実行力 創造力 傾聴力
3	天然石ブレスレット 基本作品② パワーストーンを使用 したブレスレットを制 作する。 イラスティック処理を 習得する。	演習 制作方法説明後に各自 制作実習する。PCを 活用して、GFP画像 を参考に制作する。 作品提出、制作記録提 出後にフィードバック する。	パワーストーンを組み 合わせたブレスレット が完成できる。	(予習) パワーストー ンのブレスレットを調 べる。 (復習) パワーストー ンの効能を調べる。制 作記録をまとめる。	60	実行力 規律性
4	金具パーツと工具の基 本操作 工具の操作と金具の種 類に合わせた基本テク ニックを習得する。	演習 制作方法説明後に各自 制作実習する。PCを 活用して、GFP画像 を参考に制作する。	金具パーツの種類を知 り、基本工具の使い方 と金具の操作ができ る。	(予習) ネックレスの 種類を調べる。 (復習) 手持ちのアク セサリーでの金具の使 い方を調べる。	60	主体性 実行力
5	プチネックレス 基本 作品③ 金具パーツを使い、 チャームをアレンジし たプチネックレスを制 作する。	演習 制作方法説明後に各自 制作実習する。PCを 活用して、GFP画像 を参考に制作する。 作品提出、制作記録提 出後にフィードバック する。	ネックレスの構成を知 り、課題作品を制作で きる。	(予習) ネックレスの パーツを調べる。 (復習) 作品のコー ディネート例を考え る。 制作記録をまとめる。	60	主体性 実行力
6	ピアスorイヤリング 基本作品④ 金具パーツを使い、 チャームをアレンジし たピアス、イヤリング を制作する。	演習 制作方法説明後に各自 制作実習する。PCを 活用して、GFP画像 を参考に制作する。 作品提出、制作記録提 出後にフィードバック する。	ピアス、イヤリングの 構成を知り、課題作品 を制作できる。	(予習) ピアスのパー ツを調べる。 (復習) 作品のコー ディネート例を考え る。 制作記録をまとめる。	60	主体性 実行力
7	ビーズステッチ 基本 作品⑤ 針と糸を使った技法 で、ブレスレットを シェブロンステッチに より制作する。	演習 制作方法説明後に各自 制作実習する。PCを 活用して、GFP画像 を参考に制作する。 作品提出、制作記録提 出後にフィードバック する。	ビーズステッチ技法を 理解し、課題作品を制 作できる。	(予習) ビーズの種類 と特徴を調べる。 (復習) 作品のコー ディネート例を考え る。 制作記録をまとめる。	60	主体性 実行力 規律性
8	オリジナルアクセサ リー制作デザインワー ク① ・アクセサリーの収集 ・デザイン考案	演習 作品制作について、説 明後にPCを活用し て、アクセサリーアイ テムをネットより収集 する。また、AIを活 用して、新しいアクセ サリーのデザインを検 討する。	アクセサリーのデザイ ンを考案できる。デザ インに合わせたパーツ を選定できる。	(予習) 作ってみたい アクセサリーを調べ る。 (復習) 作品の制作方 法を考え、まとめる。	60	主体性 課題発 見力 創造力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	オリジナルアクセサリ制作デザインワーク② ・材料選定 ・選定した材料をネット、店舗で収集する。	演習 材料選定方法説明後にP Cを活用して、使用材料をネットで検索調査する。	制作に必要な材料を考え、選定することができる。	(予習) デザイン決定したアクセサリーの必要パーツを調べる。 (復習) 作品の制作方法を考え、まとめる。	60	主体性 実行力 課題発見力
10	オリジナルアクセサリ制作① 制作方法について、今までの学修を振り返り、能率的な方法を考え、計画を立てる。作品を制作する。	演習 これまで獲得した知識、もしくはP C上の情報を活用して制作方法を検討し、計画を立て各自で制作する。	制作手順を計画し、制作方法を考えることができる。	(予習) デザイン決定したアクセサリーの制作方法を考えまとめる。 (復習) 立案した計画を振り返り、制作の構想を考える。	60	実行力 創造力
11	オリジナルアクセサリ制作② 前回検討した制作方法にそって、作品を制作する。	演習 制作方法説明後に各自制作実習する。作品提出、制作記録提出後にフィードバックする。	オリジナルアクセサリ①②を制作することができる。	(予習) 立案した計画を確認する。 (復習) 制作記録をまとめる。	60	実行力 創造力 規律性
12	オリジナルアクセサリ制作③ 前回検討した制作方法にそって、作品を制作する。	演習 制作方法説明後に各自で制作する。作品提出、制作記録提出後にフィードバックする。	オリジナルアクセサリ①②を制作することができる。	(予習) 立案した計画を確認する。 (復習) 制作記録をまとめる。	60	実行力 創造力 規律性
13	アクセサリ制作まとめ① (オリジナルレシピ作成) オリジナル作品の画像、材料、制作方法、ポイントをまとめ、レシピを作成する。	演習 (オンデマンド) P Cを活用して、指定の書式上に制作方法をまとめ、classroomにアップする。提出物は教員が評価し、フィードバックする。	完成作品について、レシピを考案し、まとめることができる。	(予習) レシピ内容を考えまとめる。 (復習) 制作したレシピを使って作品を制作する。	60	実行力 課題発見力 発信力
14	アクセサリ制作まとめ② (コーディネートマップ作成) オリジナル作品の活用方法を検討し、コーディネート提案を行い、マップに表現する。	演習 P Cを活用して、制作したアクセサリーの活用を考えたコーディネート例を提案したマップを作製する。提出後にフィードバックする。	完成作品をコーディネートし、イメージするマップを考案することができる。	(予習) 作品に合わせてコーディネート例を考える。 (復習) 実際にコーディネートを試す。	60	実行力 創造力 発信力
15	オリジナル作品発表会 制作した作品を発表する。 他の学生の制作作品を比較検討し、お互いに評価する。	演習、発表会 作品について、デザインの特徴、コーディネート提案を発表する。全員の作品について、講評会を行い、終了後にフィードバックする。	オリジナル作品とコーディネート提案を発表し、他の作品を評価することができる。	(予習) オリジナル作品のデザインの特徴等の発表原稿を作成する。 (復習) 課題プリントをまとめる。	60	課題発見力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力